

# 下高無念の敗退



2019年 (令和元年)

7月23日  
火曜日

発行所  
茨城県立下妻第一高等学校新聞部  
発行人 吉田 俊則  
編集人 稲葉 啓斗

## 健闘を讃えあう両校選手 (館野果歩撮影)

20日、笠間市民球場で行われた下妻一高(以下下高)と竜ヶ崎一高(以下竜一)の試合は3対6で下高が敗退した。

2回裏、1点を先制された下高は山田啄也選手(2年7組)のレフトへのソロホームランにより、すぐに竜一に追いついた。さらにランナーを1・3塁に進めた状況で平井颯選手(3年2組、以下平井選手)のタイムリーヒットにより1点を奪い、逆転に成功した。3回表、竜一に無死満塁のチャンスを与えるも、下高はダブルプレーの間の1点にこの回を抑え、最小失点でこの回を切り抜けた。5回表、相手に2点を奪われ、さらに無死1塁のピンチが続く中、加藤孝太郎選手(3年7組、以下加藤選手)が三振で相手の打者を打ち取り、相手のミスにも助けられ、それ以上の得点を与えなかった。その裏、ランナーを1塁に進めた下高は三谷将平選手(3

# 号外

年4組)の左中間へのタイムリーヒットにより1点を奪い返した。ところが、下高は7回に2点を奪われ、相手との差を広げられてしまう。9回の守備では下高の平井選手が、相手打者のショートの頭上を越えそうな打球を飛び上がって捕るといった好プレーにより、下高へ流れを引き寄せた。続く最終回の攻撃では、下高は竜一を猛追したものの及ばず、悔しくも竜一に敗北し、2年ぶりのベスト8進出を逃した。  
(稲葉啓斗)



本塁打を放った山田啄也選手 (矢吹和詩撮影)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
竜一	0	1	1	0	2	0	2	0	0	6
下高	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3